

中村延子の これまでの実績

※議員に予算をつける権利はありません。実現したことは、中村延子が提案・行動したことがきっかけで実現したと考えられるものです



平成29年第2回定例会本会議にて一般質問

女性

● 不妊治療および検査に対する助成制度の創設

精神的にも経済的にも身体的にも大きな負担となる不妊治療。23区の半分以上が東京都の助成制度に上乗せで助成している中、中野区でも実施すべきと提言。また検査も負担が大きく、対象年齢が35歳未満と低くなっていた為、対象拡大すべきと提言。平成31年度予算で実施予定。

● 妊婦健診の充実

実情はほとんどの妊婦が1回目の検査で受けているC型肝炎とHTLV-1抗体検査について2回目以降の検査からでしか助成が受けられなかった。平成30年度から1回目の検査でも助成が受けられるように制度変更された。

● 産後ケアの充実

中野区ではショートステイ、デイケア、ケア支援者派遣が産後ケアのメニューであるが、ケア支援者派遣は1社のみ実施している為、利用者の選択肢が狭まっている。産後ケア事業充実のため、担い手を発掘・育成すべきと区に提言。

子ども

● グローバル人材を育てるための教育

区内大学留学生と小学生の交流を推進するべきと提言。また、ALT人材の発掘や、小学校3年生からの外国語活動の先行実施など提言。

● 長崎・広島の平和伝承事業への子ども派遣

平和教育の一環として、小学生や中学生を被爆地で行われている平和伝承事業へ派遣するべきと提言。

● 児童虐待防止施策の推進と社会的養護の充実

平成33年に予定の児童相談所設置準備の充実や人材育成について提言。里親制度の推進、性教育の推進を提言。

行政改革

● 行政評価の根本的な見直し

現在は目標と成果の点検にとどまっている行政評価について、事務事業点検を実施し、本当に必要な行政の仕事の洗い出しをすべきと提言。

● RPAの導入を含む業務の効率化

これまで人がシステム上で、パソコンで行ってきたマウスやキーボードの操作を、ソフトウェア型のロボットに任せ、作業を自動化する手法であるRPAの導入を提言。RPAは正確かつ低コストで導入が可能であり、すぐにでも導入すべきと提言。平成31年度から試験的に導入予定。

● 職員2000人体制の検証

行政需要が複雑多岐にわたる中、前区政が目標達成した職員2000人体制を検証し、今後必要な人的配置をして区民サービスの向上につなげるべきと提言。

動物

● 災害時ペットの同行避難に関する事項の愛犬・愛猫手帳への記載

中野区内にはペットを同居している方が多い中、災害時のペットの同行避難に関する記述が愛犬・愛猫手帳になかったため、記載し広く区民に知ってもらうべきと提言。

健康

● 骨髄ドナーへの経済的支援

白血病の患者を救う骨髄ドナー制度。骨髄を提供する際、仕事を休む必要があり、ドナーへの経済的支援を実施すべきと提言。平成29年度から中野区で支援制度スタート。

● 受動喫煙防止施策

東京都が施行予定の受動喫煙防止条例は、屋内にのみ適用されるため、特に子どもに影響のある公園内での禁煙を区独自で進めるべきと提言。また、区の受動喫煙の考え方や喫煙所設置の考え方など示すべきと提言。

中村延子が これからも取り組みたいこと

女性

- 災害時の妊産婦支援
- 妊娠出産に関する若年層への知識啓発
- 産後ケアの充実
- 女性特有のがん対策

子ども

- 平和教育の推進
- グローバル人材を育てるための教育
- 待機児童ゼロの実現
- 子どもの権利条例制定の実現
- 区立保育園、幼稚園の存続
- 子どもの貧困の実態把握と必要な対策の実施
- 児童虐待防止施策の推進と社会的養護の充実

行政改革

- 職員2000人体制の検証
- 行政評価制度の根本的な見直し
- 公契約条例制定の実現
- 職員のワークライフバランス推進
- ICTを活用した業務の効率化

健康

- 受動喫煙防止施策の推進
- 風疹や麻疹など感染症対策の充実
- がん対策の充実

その他

- 外国人来街者への対応
- ダイバーシティ・インクルージョン（多文化共生社会の実現）
- 殺処分ゼロを目指した動物愛護施策の推進
- 災害に強いまちづくり



▲ 平成30年第3回定例会決算特別委員会にて総括質疑を行いました。

証紙

W24mm×H17mm

■ 頒布責任者 / 西沢けいた
中野区本町5-39-10
■ 印刷者 / 有限会社ぐるーぷ・トモ
新座市道場1-7-2

党務

立憲民主党の一員として、これまで党勢拡大に党の仲間と一緒に取り組んできました。一人ひとりがかけがえない個人として尊重され、多様性を認めつつ互いに支え合い、すべての人に居場所がある「共に生きる社会」をつくるため、これからも活動をしていきます。



立憲民主党東京都連設立大会で公認候補予定者を代表し決意表明



立憲民主党を代表し、2018年日本青年台湾研修に参加



◀ 青年局主催「おしゃべり会議」に参加し高校生らと交流

WOMAN SHIFT

政策実現ができる女性議員を増やし、地方議員を女性のキャリアの選択肢の一つにすることをミッションにしているWOMAN SHIFTで運営メンバーとして携わってきました。若手女性議員の勉強会や全国研修を行うと同時に、大学院で学生向けの講演を行い、また議員を目指す若い女性向けの勉強会も実施してきました。



WOMAN SHIFTで新宿区の24時間認可保育園を視察



WOMAN SHIFT全国大会



お茶の水女子大学大学院で学生向けのキャリア講座の講師として登壇



6月、東京都連自治体議員で杉並区議補欠選挙に立候補した関口健太郎候補を応援



南中野区民活動センターで行われた「ながつま昭と語る会」にて地域のみなさんにご挨拶



WOMAN SHIFTがマニフェスト大賞特別賞を受賞

その他

全国の仲間と連携し、骨髄ドナー登録推進運動や骨髄ドナーへの経済的支援制度がマニフェスト大賞で最優秀政策提言賞を受賞。大学生や高校生のインターン生を事務所で受け入れてきました。主権者教育の授業にも参加をするなど、積極的に若い世代との交流を図ってきました。

全国若手の仲間と連携▼



骨髄ドナー登録推進運動の「日比プラン」でマニフェスト大賞で最優秀政策提言賞を受賞



▲ インターン生と



主権者教育の授業に参加



Voter's Bar in Nakanonに参加

私たちが応援しています!



衆議院議員 長妻 昭

私が目指す一人ひとりが持てる能力を最大限発揮できる社会、すべての人に居場所と出番のある社会を、女性目線を取り組む中村さんに、心から期待をしています。



参議院議員 蓮 舫

税金のムダづかいと子どもたちの育つ環境。中野の抱える課題には特に注目をしています。私の秘書としても頑張ってくれていた延ちゃん活躍に、エールを送ります。



都議会議員 西沢 けいた

若者の政治参加や若い世代の課題解決。これまで中村さんとは党の青年委員会・青年局と一緒に取り組んできました。同年代の若手政治家として、これからの更なる活躍に期待しています。



中野区長 酒井 直人

多様な人々が暮らす中野区。多様性を尊重し、生かしあいながら共生していく社会が求められています。中村さんの経験を生かした提案にこれからも期待しています。



福岡県古賀市長 田辺 一城

中村延子さんの強みは全国各地の若手政治家とつながるネットワーク。これを活かし、暮らしを取り巻く課題解決のための政策を提案してきました。骨髄移植のドナー支援策を全国の自治体で実現できたことも大きな成果のひとつです。ともに活動してきた中村さんを全力で推薦します!



台東区議会議員 本目 さよ

若手の女性議員仲間(WOMAN SHIFTのメンバー)として、共に活動しています。大切な友人です。コミュニケーション能力、調整能力、責任感の強さで頼りにしています。



選択的夫婦別姓制度を推進する中野杉並の会代表 飯田 亜由香

すがる思いで中村区議を訪ねたのが一年前。親身になって耳を傾けてくれました。中野区議会で23区初の選択的夫婦別姓導入の意見書が採択されたのも中村区議の導きがあったからこそ。一人一人が生きやすい社会に導いてくれる中村さんを応援しています。